

# だんだん通信

2015  
1月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。



**今までありがとうございました。**  
だんだんテラスは私たちにとても一つの居場所となりました。また、ふらっと遊びに帰りたいたいと思います。みなさん忘れないうちに！  
松浦

# 世代交代

だんだんテラスの学生が入れ替わります！

**これからよろしくお願ひします。**  
新しく男山地域に飛び込みます。お話やイベントを通して、地域や団地のことを聞かせてください一緒にまちを考えましょう！  
因田



武田 浩樹 (京都府立大学大学院 / 住生活学研究室) 第8回 **だんだんテラスと私**

私は大学進学を機に、C地区の祖母の家に住むこととなったのですが、初めて男山団地に来た時、花と緑の多さに驚いたことを覚えています。この驚きが現在の修士研究に繋がっており、団地の豊かな戶外空間をどのように利用・管理していくかが、そのテーマとなっています。

さて、研究は主に住民へのヒアリングやワークショップによって構成されているのですが、厚かましくも調査の際にはだんだんテラスを利用して頂いています。「だんだんテラスでなら」と言って協力して下さる人もいることから、気軽に利用できるオープンな場所の有難さを感じています。私事ながら、先月祖母が兵庫の実家に引越したこともあり、だんだんテラスは私にとって唯一の男山の拠点となりました。これからも、男山の人たちが愛される場所として、あり続けて欲しいと願っています。

## 2015年もどうぞよろしくお願ひいたします。

だんだんテラスは、2度目の元旦を迎えることができました。表紙は、だんだんテラスから撮影した初日の出です。2015年の朝もいつもと変わらず、10時のラジオ体操からはじまりました。普段と何も変わらないようにも感じますが、元旦から体操に集まる方や新年のあいさつに来てくれる方がいるということは、少しずつ、段々と、だんだんテラスも地域の方に愛される、場所になっているのかなあと感じました。変わらないように思う日常にこそ、まちを変えるきっかけがたくさんあるんだと感じました。2015年もだんだんテラスをよろしくお願ひいたします。

**■お知らせ**  
**団地再編レクチャー**  
実施日：1月26日(月)  
時間：18:00～20:00  
主催：関西大学団地再編プロジェクト  
場所：だんだんテラス  
申込：不要  
参加：無料  
内容：団地再編の専門家による講義をインターネット中継で配信します。お気軽にご参加ください。

**■予定**  
**だんだん朝市** 29日以降開始  
実施日：毎週火・木・日曜日  
時間：10:00～完売まで

**だんだん Dang Dang BAR** 時間変更!  
実施日：毎月第2、第4金曜日  
時間：18:00～21:00

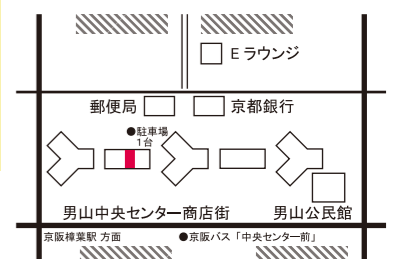
**ハガキ絵教室**  
実施日：毎月第2、第4月曜日  
時間：10:30～11:30  
参加費：600円

**お気軽歴史講座** 1月お休み  
主催：八幡の歴史を探究する会  
実施日：毎月第2木曜日  
時間：13:30～15:00  
参加費：100円

**のら猫不妊手術相談会**  
主催：八幡地域ねこを考える会  
実施日：毎月第3木曜日  
時間：14:00～16:00

**中野ワールド能面**  
主催：中野ワールド能面  
実施日：毎週水曜日  
時間：10:00～12:00  
月会費：週2回5000円

**ラジオ体操**  
主催：だんだんテラスの会  
実施日：毎日  
時間：10:00～



**だんだん通信**  
住所：京都府八幡市男山八望 3-1 B47-104  
男山中央センター商店街  
アクセス：京阪バス「中央センター前」下車  
Eメール：dandan.terrace@gmail.com  
**だんだん通信 1月号**  
発行日：2015年1月19日  
発行元：だんだんテラスの会  
編集：辻村修太郎 / 団地再編プロジェクト  
松浦知子 / 関西大学大学院  
山本楓 / 関西大学大学院

# 団地の子育て

「団地で子どもをあまり見かけなくなった、昔はたくさん子どもが走り回っていたのにね」そんな声をよく伺います。季節によって彩りを変える豊かな緑道や、たくさん公園は、子ども達の遊び場としてはとても環境が良く、子育てに適しているのではないのでしょうか？

関西大学とUR、八幡市、京都府による「男山地域まちづくり連携協定」のもと、子育て支援のプロジェクトが始まりました。子育てしやすい間取りにリノベーションした住戸を検討し、2月より募集を開始します。また、昨年末にはA地区集会所に子育て支援施設「おひさまテラス」がオープンしました。

子育て世代の横のつながりは、団地のコミュニティに息を吹き込む、ひとつのきっかけになります。「子ども達に元気に育って欲しい」という思いが地域で芽生え、地域で子ども達を見守る安心安全なコミュニティがあれば、若い人が男山で子育てをしたい、男山に住みたいと思えるのではないのでしょうか。

# 2014

# 冬



# 生の声

だんだんテラスに寄せられた生の声を発信していきます

①川辺隼 徐々にだんだんテラスに来たら、ラジオ体操をしている人の人数が増えてびっくりした。ラジオ体操が始まった当初は2人とか3人だったのにな。これからも続いていけばいいな。  
#3ヶ月ぶりにだんだんテラスに来た学生

②D地区在住 60代女性 句会をするのが憧れだったの。Dang Dang Bar で人を探したり、お会いしたりして「だんだん句会」を作ることができました。まだ1回目だけど、自分が知らなかった、古き良き日本語を知れたり、四季の良さを再確認できてとても楽しかったです。季節とか文字数とかの決まりがあって、俳句をつくるのは難しいけど、これから上達していきたいな。  
#だんだん句会参加者

③高層棟在住 60代女性 今年の中央センター商店街の秋祭りで飾っていたクリスマスツリーの飾るのを一緒にやらしてもらったの。飾ったから片付けもと思って、これも一緒にやらしてもらったの。誰かと何かを一緒にやるのは楽しいし、何より喜んでもらえたから、こっちは嬉しくなっちゃった。ありがとう。  
#秋祭りが凄かった！

④松浦知子 右ページの左下の挿絵は男山団地 A17 棟の妻面に描かれた子育てママの絵がモデルとなっています。団地をモチーフにした作品を中心に活動をされておられる、momiji さんから今回のだんだん通信 1月号に掲載のお願いをしたところ、快諾していただきました。普段生活していて、団地の中で当たり前になってしまっていることでも、第三者の目線から見るとときには新鮮に映るものがあるのかもしれない。  
#男山団地が絵のモデルになっていました！

⑤20代男性 年末年始にごみ置き場にカラスが大量発生していた！正直驚いた。  
#カラスの群れがすごい！

⑥男山泉在住 60代女性 自分の住んでいる地域が大学とかの教育の題材にされているなんて思わなかった。市民の生活と大学とのこんなつながりがあったんだな。高齢者が多いなどの問題は自分たちや、関わりのある市役所やURで解決するものだと思っていたので、まさか第三者の方が、このような意識を持ってくださっているなんて驚いた。  
#大学の勉強しているいろいろあるのね。

## ダンチ de コソダテ in 男山団地

5戸のリノベーション住宅のうちの1戸のプランと子育て支援施設を紹介！



上段：リビングとキッチンが1体となったタイプ（A63棟）  
下段：だんだんテラスを運営する学生も住戸の設計に加わっている。

### 大きなワンルーム使いのできる住まい

障子を開放せば、家全体を大きなワンルーム空間として使うことのできるプランです。



### 地域子育て支援施設「おひさまテラス」

男山団地の集会所を利用した「遊びの広場」と一時預かりサービス「ファミリーサポート」



昨年12月、男山団地A地区の集会所を利用し、オープンした「おひさまテラス」。  
毎週月・火・金・土曜日  
「遊びの広場」は10時から16時まで、「ファミリーサポート」は10時から20時の間で利用できます。  
地域の方が気軽に立ち寄れる場所を目指しています。  
運営／おひさまテラスの会  
お問い合わせ／八幡市子育て支援センター  
電話／075-198318747



上段：集会所の和室を洋室に改修した。床暖房も完備。  
下段：「遊びの広場」には団地や地域から利用者が集まっている。

### 可変可能な部屋

必要に応じて大きく部屋を使ったり、小さく仕切ったりできます。部屋全体に風が通り抜け、子どもがのびのびと過ごせます。

### 透明ガラス戸

窓の下部も透明ガラスにすることで、空間が広がり、太陽光がさんさんと差し込みます。暖かい光に包まれ、気持ちよく過ごができます。

### キッチン

キッチンは広々、オープンな対面型です。キッチンからは子供の遊び場と玄関が見え、安心して楽しく料理ができます。

### サンタリールーム

洗濯機置き場、洗面を使いやすいように、整理しました。引戸も設け、脱衣スペースとしても機能します。

### 四畳半の個室

リビング・ダイニングに加え、4畳半の個室を残しました。家族のライフスタイルに合わせた自由度のある暮らしができます。